

要 望 書

熊本県は、日本最大の断層である中央構造線がほぼ東西に横断するなど地形が急峻で、地質が非常に脆弱なことに加え、台風や豪雨等の自然災害のたびに幹線道路や生活道路の多くが寸断され、地域生活・産業・経済に甚大な被害を被っています。

また熊本県は、一級河川の菊池川、白川、緑川、球磨川等多くの河川を有し、過去においてたびたび大水害や大規模土砂災害が発生していることから明らかなように、未だ十分な安全性が確保された状況にはありません。

加えて、近い将来、高い確率で発生するとされている東南海・南海地震が懸念されており、九州においても大規模災害時の緊急輸送路の整備が急務であり、高規格幹線道路のミッシングリンク解消に向けた九州中央部の横断道路の整備による九州8の字ネットワークの早期整備が求められます。

これらの問題を解決・解消し、地域住民が安全・安心に暮らしていくためには、国による強力な治水・砂防・道路等事業の推進が必要であります。

一方、我が国においては昨年3月11日発生 of 東日本大震災、8月末から9月始めにかけての台風12号による紀伊半島の大規模土砂災害、九州においては1月末からの霧島 新燃岳の52年ぶりとなる爆発的大噴火により宮崎県を中心に大きな被害が発生しました。これら未曾有の広域的な災害において、地方整備局など国の出先機関が果たした役割は非常に大きく、またその専門力・広域的な行動力が大いに発揮されました。

このような状況・事情を顧みるとき、地域主権という時代の趨勢にあっても、地域の安全・安心な社会基盤整備、大規模災害対応における国の果たす役割は非常に重要なことから、拙速な国の出先機関廃止論に反対するとともに、基礎自治体の意見を十分反映させるよう、ご要望申し上げます。

平成24年1月27日

熊本の明日を考える町村長の会
会長 嘉島町長 荒木 泰臣

【役員】

会 長	上益城郡嘉島町長	荒木 泰臣
副会長	阿蘇郡南小国町長	河津 修司
副会長	葦北郡芦北町長	竹崎 一成

【会員】

下益城郡	美里町長	長嶺 興也
玉名郡	玉東町長	前田 移津行
	和水町長	坂梨 豊昭
	南関町長	上田 数吉
	長洲町長	中逸 博光
菊池郡	大津町長	家入 勲
	菊陽町長	後藤 三雄
阿蘇郡	小国町長	北里 耕亮
	産山村長	佐藤 敬助
	高森町長	草村 大成
	南阿蘇村長	長野 敏也
	西原村長	日置 和彦
上益城郡	御船町長	山本 孝二
	益城町長	住永 幸三郎
	甲佐町長	奥名 克美
	山都町長	甲斐 利幸
八代郡	氷川町長	藤本 一臣
葦北郡	津奈木町長	西川 裕
球磨郡	錦町長	森本 完一
	あさぎり町長	愛甲 一典
	多良木町長	松本 照彦
	湯前町長	鶴田 正已
	水上村長	廣瀬 親吾
	相良村長	徳田 正臣
	五木村長	和田 拓也
	山江村長	横谷 巡
	球磨村長	柳詰 恒雄
天草郡	苓北町長	田嶋 章二